※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度看護科

教科	看護	科目	人体の構造と機能	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体の仕組みを理解し、どのように健康を保っているか理解しましょう。
・正常な体の仕組みを知り、異常とはどのような状況なのかを知っていきましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけではではなく、授業のポイントや自身で気付いたことをノートの枠外に記入していきましょう。
・グループワークやレポートでは、意見を述べる力や書く力を積極的に身につけましょう。

2　学習の到達目標

・医療職を目指すために必要な知識を習得する。
・人体の構造について興味・関心を深めることができる。
・グループワークやレポートで必要な力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人体の構造や病態についての基本的な知識を理解する。 それらに関係する環境などについてもあわせて理解をしていく。	学習した人体の構造や病態についての知識を整理し、他者に分かりやすく伝えられるよう表現を考える。 得た知識をグループワークや疾病の学習の際に活用する。	基礎看護と人体の構造と機能で学んだ知識を内容と結びつけ、積極的に学習に取り組む。 グループワークなどで自身の役割を考え、適切な行動をとる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人体の構造	細胞･組織･器官	a: 人体の構造を学ぶ上で必要な基礎的な知識を理解することができる。 b: 器官や器官系など具体的な器官系を用いて説明することができる。 c: 基本的な分野ということを理解し、積極的に学習しようとする姿がみられる。	記述の確認 小テスト	記述の確認 小テスト	行動の観察 記述の点検
	循環器系	循環器の定義 循環器の役割 心臓の構造と機能 血管の構造と機能 循環器疾患	a: 心臓の位置関係をもとに人体の構造における左右の定義を理解し、血液循環の流れを理解する。 b: 心臓のイラストと文章で、循環の流れを表記できる。 c: 循環器に関する疾病と結び付けて学習する際に前向きに学習する姿がみられる。	記述の確認 小テスト	記述の確認 小テスト	行動の観察 記述の点検

※令和４年度以降入学生用

後期	呼吸器	呼吸器の定義 呼吸器の役割 肺の構造と機能 肺活量 呼吸器疾患	a: 呼吸器と心臓の結びつきを理解し、生命にかかわる呼吸の仕組みを理解する。 呼吸器疾患について理解する。 b: 呼吸器の仕組みから、呼吸器に障害が生じるとどうなるかということを想像し、表現する。 c: グループワークを行い、他者と協力したり、話し合ったりすることで協調性を身につける。	班学習 小テスト	班学習 小テスト	行動の観察 記述の点検
	免疫	免疫の定義 自然免疫 獲得免疫 インフルエンザ アレルギー	a: 免疫の仕組みについて理解する。具体的な疾患を例に挙げ、どのような仕組みか理解する。 b: 症状について、なぜ免疫反応が起きるかを整理し、文章化することができる。 c: 身近な疾患として意欲的に学ぶ姿が見られる。	記述の確認 小テスト	記述の確認 小テスト	行動の観察 記述の点検

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度